

「ふれあい」を求めて

西谷コミュニティ
会長 前坂 定義

まちづくり協議会の部会が活躍しています。広報部会は女性ボードのレギュラーに各部会の広報担当が加わって取材の体制がより強固になりました。

青少年・文化部会は、アダルトビデオ自販機の撤去に精力的に取り組み、業者の自主撤去に成功しました。

福祉部会は、各自治会単位に福祉推進委員会の結成を呼びかけ、全ての自治会で結成されました。

西谷コミュニティ発足4年目の成果です。

宝塚市域でも22の中学校区で18のまちづくり協議会が出来て、あと2校区を残すだけになり、それぞれの悩みを抱えながらよりよい環境作りに取り組んでおられます。

話は変わりますが、5月5日、長谷地区で「牡丹まつり」を開催しましたら、天候に恵まれて予想を遙かに上回る1200人もの来場がありました。

西谷婦人会、希望の家、そして、地元各団体が用意したおこわ、おでん、餅、やきそば、ビール、ジュース、牡丹の鉢植え、胡蝶蘭などが僅か2時間で売り切れが出る盛況でした。

西谷の商工業者協賛のビンゴゲームも、カードが足らなくなって補充に走るアクシデントもあって大盛況、テレビ、扇風機、クリーナードなど、豪華な賞品を手にした人達が笑顔で言った「来年もまた来るからね」のひとことでスタッフの疲れも吹っ飛んだのでした。

さまざまなPRが功を奏したのだと思いますが、西谷の美しい風景とおいしい空気、それに加えて心あたたまる人情が都会の人々を引きつけるのです。

市街地の人達との束の間のふれあいでありましたが、いろんな人たちの批評、助言、励ましの言葉を、わたしたちの心の糧としてこれからの活動に活かして行きたいと思っています。



写真(長谷牡丹園芸組合)

どうぞよろしく

再び、自然と人に優しい西谷にもどってくる事ができ、うれしく思っています。地域とともに歩む21世紀の学校づくりをめざします。

昨年度は50周年記念行事で、地域のあたたかい支援を感謝しました。

50周年を節目に、さらに、一人ひとりの子どもたちが地域に生き、そして、自分に自信と誇りを持つ学校づくりに全力を尽くします。

今後ともよろしく願います。

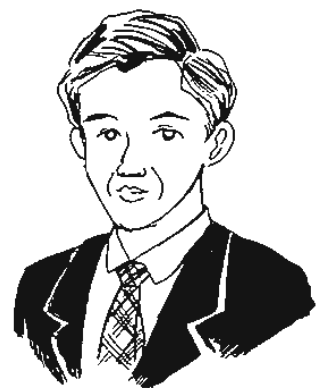
西谷の豊かな自然の中で育つ子ども達と、日々楽しく過ごさせていたいただいています。子ども達のより大きな成長を願って、皆様方と力を合わせていきたいと考えています。



川井 秀昭
(西谷中学校教頭)



広田 智子
(西谷中学校校長)

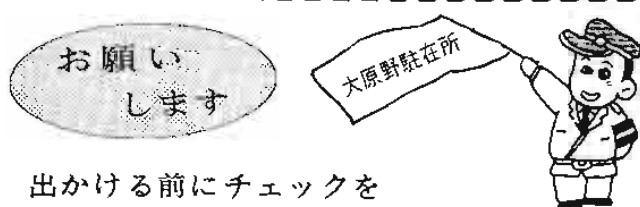


岡本 聰
(西谷小学校校長)

イラスト(玉瀬一さん)

◆西谷自治会連合会よりのお願い◆

最近、青少年に有害なアダルトビデオ自動販売機設置の動きが、西谷地域でもありました。以前よりお願いしておりますように、ツーショットダイヤル用カード自動販売機やその他有害図書、ビデオ等の自動販売機設置につきまして、絶対に場所等を提供しない、貸さないよう、再度ご協力を依頼します。また、工事用車両等による交通事故の原因となり、良好な自然環境を守る立場からも資材置き場、廃材や残土処理についても場所の提供についてご留意いただくとお願いいたします。併せてゴミ排出につきましても排出場所、排出日のマナーを守らない不法投棄が増えています。必ずルールを守って下さい。



お願いします

出かける前にチェックを

本年6月末現在、西谷地区において3件の「空き巣ねらい」被害が発生しています。(4月13日 上佐曾利地区、5月1日 玉瀬地区、5月1日 切畑地区)

昼間帯は家人不在となる家屋が多くなり、不在家屋を対象とした「空き巣ねらい」の発生が予想されるため、各家庭は、十分注意して下さい。

外出する時は、必ず確実に施錠をして下さい。

「地域ふれあいの会」について

宝塚西谷地域ふれあいの会は、松本孝一会長他12名の委員で、地域の安全上の諸問題を取り上げ、それを解決するための活動を行っているボランティア組織です。

犯罪防止のため5月2日以降は、夜間パトロールを実施するなどして犯罪発生を0件にするなど地域安全活動に素晴らしい成果を上げています。

今後も「西谷地域ふれあいの会」に対する皆様方のご支援をお願いいたします。

7/25(土) 第16回西谷ふるさと祭り

17:00~21:00
西谷小グラウンド
(駐車場)
西谷中グラウンド

- ☆こどもみこし(自治会)
- ☆おそ松くん音頭(幼稚園)
- ☆ブラスバンド演奏(中学校)
- ☆盆踊り大会(全員)
- おそ松くん音頭・西谷音頭・炭坑節
- ☆花火大会(消防団)
- ☆夜店(婦人会・中PTA・小育友会・連合自治会・幼PTA)



西谷小体育館

第16回西谷ふるさと祭り実行委員会

伝えて行きたい ふれあいの行事

切畑自治会

8月23日は盆踊り大会。氏神様の前の広場での催しは、売店や花火大会もあり、古里を遠く離れておられる方々も帰郷され、大人も子どもも地域全体で賑わいます。懐かしい夏の夜のひととき、ふれあいの盆踊り大会はいつまでも伝えて行きたいと思えます。

10月10日は秋祭り。古くから伝わり、若者により受け継がれた獅子舞が、朝早くから各家を回り悪魔を退治して家内安全を願う祭事です。獅子舞の顔を見て泣き出す幼児もいますが、これも秋の風物詩のひとつです。午後には父母に付き添われた子ども神輿が、地区の幹線道路を練り歩きます。夜明けと共に地区全体に響き渡る笛や太鼓、神輿の賑やかな掛け声…。忙しく、楽しい一日になります。



広がるコミュニティの輪

大岩谷自治会

夏は汗ダクになりながら、冬は凍結に足をとられながら、武田尾辻のバス停から急勾配の坂道をあがると、約70戸のこじんまりした団地が広がります。それがハイマート、大岩谷自治会です。西谷の長い歴史の中では新参といえませんが、それでも最初の入居者から数えると20有余年。この地域にもすっかり溶け込み、自治会活動も発足以来、紆余曲折を重ねながら進めています。土地のみを所有する不在地主や、別荘として利用する準会員も多く、他の自治会ではあり得ない問題も少なくありませんが、4月の総会に始まって年2回の大掃除や消防訓練、和気藹々の婦人部会、廃品回収などの年中行事を進めながら正会員数43戸、少数ゆえの結束と協力でコミュニティの輪を広げています。

投稿 こえ 投稿 こえ 投稿 こえ

「玉瀬子ども会」は、現在、『通学路』のことで悩んでいます。

玉瀬の子どもたちは、毎日、集合場所から学校まで約3.2kmの道のりを歩いて通っています。(1年生だけは、実費でバス通学をしています)道路のほとんどは、幅が十分でなく、歩道もありません。

今年2月、「玉瀬子ども会」は、「全額公費補助によるバス通学の実施」を要望する書類を教育委員会に提出しました。4km以内は徒歩通学という文部省の原則に対して、例外を求めるものでした。1年かけてなんとかかまどめあげ提出した私たちの要望に対して、やっと届いた回答は「今後とも現行の基準にて実施して参りたい」というものでした。

新たな話し合いの場で、関係各所に歩道の設置や側溝に蓋を付けること、カーブミラーの増設などの要望を続けていくことを決めました。そして、私たちができることとして、現在の通学路をチェックして回り、6月末には一斉草刈りを実施しました。

西谷小学校の先生方も、子どもたちが危険を自覚できるように、自分たちで危険を回避できるように指導を続けてくださっています。一斉下校の方法で対処もされています。

すぐには何も変わらないかもしれませんが。でも何かあってからでは遅いですよね。(この間もU字溝に落ちてけがをした児童がありました)

“自分たちに、いま、できること”を話し合っ、私たちはまた、動き始めました。

たくさんの本が 出会いを待っています

西谷中学校では、毎土曜日、図書室を地域のの人たちに開放しています。これは、昨年の創立50周年記念式典で植木前校長が「学校の図書室が地域の皆さんの文化や情報発信の拠点となり、それが西谷地域での図書館建設につながれば」と話されたのをきっかけに、学校、創立50周年実行委員会、PTAが協力して本年3月より取り組んでいるものです。運営には、14名の図書室ボランティアが当たっています。図書室の本はもとより、ボランティアが持ち寄った最近のベストセラー、絵本、料理の本などを借りることがができます。玄関のカラフルな看板が目印です。家族揃ってご利用ください。



看板製作 (中部・Tさん)

開放日
第1・3・5土曜日
第2・4土曜日
登録者 52名
利用者 206名
貸出数 220冊
地域より提供本 207冊

★夏休みも開放します。(☎〇五六〇玉谷)



青少年・文化部会

毎月10日は全国青少年の日

昨年、青少年・文化部会が発足した時の活動は、青少年育成市民会議の事業を基に取り組みことになっていました。一年を振り返って、果たして専門部活動がこれだよのらるかと思われ反省させられています。

青少年育成市民会議の活動は、学校教育、家庭教育ではできない部分を地域の住民でカバーする団体活動であり、大人の企画による一方向的な活動になっていきます。

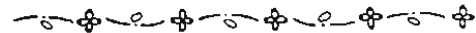
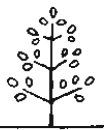
青少年の文化とは、宗教、道徳、学問、芸術、政治、経済など広い範囲を意味し、それ等に向かつて理想を求めて進もうとする青少年の心に届えることが文化部の活動だと思っています。

本年度は青少年と大人とのテーブルディスカッションを活動の中心におきたいと考えています。

福祉部会

小地域福祉について

平成3年11月にモデル地区の指定を受け、一人暮らし老人の配食サービスからスタートした福祉活動推進事業は、講演会や交流会(小・中学生、園児、老人)等の事業を実施し現在に至っています。よりきめ細かな活動をする必要性から、昨年6月には福祉活動推進委員会を開催し、地域住民が福祉について認識を高めるために、各自治会毎



*ドライバーの皆さん、雨の時、傘をさして狭い道を登下校する子どもたちの為に、心して運転下さるようお願いします。

*武田尾駐車場についてひとこと言わせて～
「一時預かりのスペースを滑やして!」
「あたり一面緑がいっぱい。!の中に植木はいらんで」
「平日の空きが多いこと。本当に通勤通学者に限ってるの?」

*名乗らない、気味の悪い事を言う、受話器をとればプツリと切ったり無言のまま…最近、いたずら電話の悩みをよく聞きます。電話に限らず、相手の気持ちを考えない行為が目立ちますね。

に部会組織づくりをお願いするようになりました。そして現在、各自治会において前向きに活動が始まっています。

最近「核家族化」です。おじいちゃん、おばあちゃんも生活と共にする家庭が少なく、子どもの数も減少し、成長すれば結婚して親元から遠く離れて生活します。緊急時には誰が援助するのでしょうか。遠い親戚より近い他人」という諺があります。遠い親戚より近い他人」といいます。まず近隣、地域住民とのふれあいが大事なことです。率直に申し上げると、「自助・公助・共助」に照らし合わせて、公助でやるべきものは行政に投げかけるが、共助でやるべき問題は地域で取り組むのだという考え方をしたいと思っています。委員は今後も学習を重ね、地域のための活動に取り組みしていきますのでよろしくをお願いします。